

平成20年2月20日

経済産業省製造産業局  
紙業生活文化用品課長  
加藤 庸之 様

追加実態調査のご報告について

王子特殊紙株式会社  
代表取締役社長  
金丸 吉博

弊社事業活動全般につきまして、平素よりご指導賜り、誠にありがとうございます。

また、今回の古紙配合率問題につきましては、大変なご迷惑をお掛けしておりますことを改めましてお詫  
び申し上げます。

本件に関しましては、御省のご指示を頂きながら、実態調査および再発防止対策の具体化などの対応に鋭  
意取り組んでおりますとともに、お客様および関係先様へのご説明と対応にも全力で取り組んでおります。

さて、平成20年1月30日付にて、御省よりご連絡のありました「古紙を配合した紙製品全体に係る古紙  
配合率の追加実態調査の実施について」にて、ご指示のありました標記項目につき、以下のとおりご報告さ  
せて頂きます。

今後とも、ご指導賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

(記)

1.社内調査の体制、社外からの参加の有無、調査項目、終了時期

調査体制： 本社および工場スタッフで構成する調査チームを編成  
本社：営業部門(本部長、部長)、品質管理部門(本部長、部長、品質管理担当管理者)  
工場：工場長、製造所(部)長、品質管理担当部長  
社外からの参加はありません

調査項目： 基本的な原因究明(過去の経緯の調査および関係者聞き取り調査)

終了時期： 平成20年2月20日

2.表示の訂正、削除について現時点で講じている措置

在庫品で、再生紙品と表現しているもの、古紙配合率を表示しているもの、エコマーク等の環境マークを印  
刷あるいは別途貼付しているものについて、問題の表示箇所にラベル等の貼付により目隠しを実施  
( '08.1.18より実施)

生産においては、問題表示箇所のないラベルへ変更し、更に識別のため、目印マークの貼付を実施  
( '08.1.18より実施)

実配合率についてユーザーへの連絡を行い、ご理解の得られた製品から出荷を再開('08.1.21 から再開)  
上記にてご理解の得られない製品は、他ユーザー向けに転用するよう努力中  
営業部門に对外苦情窓口チームを設置し、ユーザー対応中('08.1.21 から実施)  
グリーン購入ネットワークの「エコ商品ねっと」へ掲載した商品およびエコマークに登録した商品について、  
配合率が公称と乖離のあった商品については、リストからの削除を申請('08.1.21,22 実施済み)

### 3.乖離製品供給開始時期

'06年4月まで遡って、詳細な社内調査を実施した結果を表1に示します。また、調査の結果、乖離が見つかった製品の銘柄の詳細は表2に一覧で表示しました。

当社は、特殊紙を生産する複数の小さな事業所が合併して設立したという経緯があり、過去の記録が十分残っていない場合が多かったため、関係者からのヒアリング等による調査で、さらに遡った調査を行った結果、銘柄によってその時期は異なりますが、5～10年ほど前から配合率の乖離が始まったと推定されます(表3参照)。

### 4.乖離製品供給につき、いつからどの範囲の役職員まで把握していたかの事実関係

配合率に乖離のある製品の生産が始まった頃では、当時の営業部門の担当部長クラス、工場の品質管理担当室長クラス、製造担当部長クラスが、その事実を知っていたものと推測します。

乖離のあった製品を製造していた工場の現工場長は、'07年4月にそれぞれの工場に着任しましたが、江別工場長は'07年6月、東海工場長は'07年7月にその事実を知り、それぞれ営業本部へ報告するとともに、'07年度内を目処に是正対策を行うことを決め、是正活動を進めていました。

営業本部長は工場の是正対策の決定を受けて、営業本部の責任・権限において解決をすべき問題であると考え、代理店および工場と協議を進めていましたが、実態を過小に認識して、社長への報告は、実施していませんでした。

また、2007年7月頃より一連の環境コンプライアンス問題が発生して対応に忙殺されており、言い出しにくかったことも、社長への報告が遅れた一因でした。

### 5.乖離製品供給を経営トップが知った時期

'08年1月に実施した社内調査の結果知りました。

### 6.乖離製品を製造していた工場名・生産ライン名

以下の2工場で製造を行っていました。各工場毎の生産ライン名は以下のとおりです。

江別工場 2,4号抄紙機

東海工場

岩淵製造所 3,4号抄紙機

富士製造所 3,5号抄紙機

第一製造所 1,4号抄紙機('07/11 4号抄紙機廃止)

静岡製造所 1,2,4号抄紙機('07/8 2号抄紙機廃止、'08/8 1,4号抄紙機廃止予定)

なお、静岡製造所は、'08年8月に閉鎖予定です

#### 7.従来の古紙配合率等の品質の確認制度（監査等）、体制（最高責任者等）、方法（流量計チェック等）

製造所によって名称は異なりますが、「調成日報」や「原質実績表」等の日報に、使用したパルプの種類と量が記載され、工場の製造担当管理者が確認を行なっていましたが、配合率の実績値が公称配合率を満たしているかをチェックするシステムが明確ではありませんでした。

#### 8.従来の納入先への品質保証に関する対応

客先の要求に応じて、紙質試験表等の発行により品質保証を行ってきました。（試験表への古紙配合率の実績値の記載要求はありませんでした）

これまでは、品質保証において、紙質(白色度や印刷適性、塵など)の確保を優先し、古紙配合率を軽視してしまう実態があったと考えられます。

#### 9.今後の、社内での古紙配合率確認体制、方法等の変更の有無

製紙連合会においても検討中であり、その検討結果を参考にして当社の対応策を決定する予定ですが、現時点では、以下の項目を中心に検討を進めています。

環境配慮型の製品は、その要求事項（古紙配合率など）を、指示書等へ確実に記載するようルール化する。

複数部門による確認体制の確立(製造部門、品質管理部門、営業)。江別工場と東海工場に品質保証室を設置。

古紙配合率の検証方法については、製紙連合会の検討結果に従い、適切なものがあれば実施する。

#### 10.今後の、納入先への品質保証に関する対応の変更の有無

製紙連合会において検討中であり、その結果を参考にして当社の対応を決定します。

現時点では、ユーザーや消費者の要請に応じて、工場見学の受入や情報の公開等、積極的に対応していくことで信頼の回復に努める所存です。

以 上

表1 弊社が再生紙として生産している銘柄(生産量:2006年4月~2007年12月)

平均配合率は加重平均値で表した

区分	品種	配合率 (公称値)	乖離	'06/04~'06/09		'06/09~'07/03		'07/04~'07/09		'07/10~'07/12	
				平均配合率 %	生産量 t/月	平均配合率 %	生産量 t/月	平均配合率 %	生産量 t/月	平均配合率 %	生産量 t/月
印刷用紙	薄葉印刷紙 (うちグリーン購入法対象品)	10~100% (100%)	なし	70 (100)	300 (2)	70	350	60	250	65	350
			あり	35 (55)	200 (3)	5	100	15	50	-	-
	その他特殊印刷用紙 (うちグリーン購入法対象品)	20~100% (70~100%)	なし	45	5	50	5	50	15	35	20
			あり	10 (15)	1,195 (200)	15 (15)	1,195 (150)	15 (15)	1,135 (200)	15 (10)	1,180 (200)
雑種紙	その他工業用雑種紙 加工原紙	10~100%	なし	45	250	45	250	45	250	50	200
			あり	0	500	0	450	0	400	1	200
板紙	白ボール	60~100%	なし	100	2,550	100	2,400	95	1,750	80	2,800
			あり		-		-		-		-
	その他板紙	60~100%	なし	80	250	80	200	80	200	80	250
			あり	80	400	80	450	80	350	60	150
合計			なし		3,355 (2)		3,205		2,465		3,620
			あり		2,295 (203)		2,195 (150)		1,935 (200)		1,530 (200)
			計		5,650 (205)		5,400 (150)		4,400 (200)		5,150 (200)

注1 : カッコ内の数字がグリーン購入法対象品生産量(内数)です。

注2 : 薄葉印刷紙生産量にはグリーン購入法対象品2銘柄を含みます。また、その他特殊印刷用紙生産量には、グリーン購入法対象品13銘柄を含みます。

注3 : 2007年10~12月生産の古紙配合品の銘柄についても、生産量、配合率を再確認いたしました。

その他特殊印刷用紙では、グリーン購入法対象品の生産量の値に間違いがあり、値を訂正いたしました。

その他特殊印刷用紙について各銘柄の色毎の配合率を精査した結果、多数色ある銘柄の平均では配合率が乖離しているものの、そのうちの濃色品では乖離がないものがありましたので、その生産量を乖離なし欄に変更しました。

板紙においては、古紙配合製品のうちで特に配合率を表示していない銘柄を集計から除外していましたが、いくつかの銘柄で古紙配合をユーザー様へ連絡していた実態が判明しましたので、その銘柄の生産量を追加いたしました。なお、追加した銘柄に配合率が乖離した銘柄はありませんでした。

表2 公称配合率と乖離があった紙製品のブランド名(代表銘柄)

王子特殊紙株式会社

OEM品、特定ユーザー限定品を除く、生産量10t/月以上の銘柄について記載しました。  
 (同一銘柄で複数色・種類がある銘柄は、その生産量合計で10t/月以上のものを記載しました。  
 なお、グリーン購入対象品については、生産量にかかわらず、記載しました。  
 グリーン購入対象品欄の 印は自社での登録銘柄、 印は代理店など他社での登録銘柄です。

区分	品種	ブランド名	グリーン購入法 対象品	乖離品の生産時期	
				乖離開始時期 (推定)	最終生産
印刷用紙	薄葉印刷紙	ビューコロナ手帳クリーム グリーン100		'03年頃	'06年上期
		その他特定ユーザー限定品 (手帳用紙、約款用紙など)		'00年～'03年頃	'07年上期
	その他特殊印刷用紙 (ファンシーペーパー)	OKスーパーエコプラス		'01年頃	'08年 1月
		新シリアルペーパー (計4種)		'00年～'03年頃	'07年上期
		五感紙 (計39色・種類)		"	'08年 1月
		デュークブラウン (計3色)		"	'07年上期
		セキュリティー用紙銀河		"	'07年上期
		ジーンズエコ100		"	'07年10月
		グラフィテキスト (計2色)		"	'08年 1月
		グラフィエコカラー (計5色)		"	'07年上期
		グラフィエコ100 (計3色)		"	'08年 1月
		グラフィーミルク 1		"	'08年 1月
		アトモス (計8色)		"	'08年 1月
		Mag100 (計5色)		"	'07年12月
		GAボード (計10色)		"	'08年 1月
		OKエコジャパンR (計45色。うち、「くろ」は乖離なし)		"	'08年 1月
		OKミュージバナナ (計17色)		"	'08年 1月
		OKミュージコットン (計117色)		"	'08年 1月
		OKミュージガリバーリラ (計3色)		"	'08年 1月
		OKミュージガリバーしるもの (計3色)		"	'08年 1月
		OKミュージガリバーエクストラ (計3色)		"	'08年 1月
		OKミュージカイゼル (計11色)		"	'07年10月
		OKフェザーワルツ (計17色)		"	'07年12月
		OKサンドカラー (計11色)		"	'07年12月
		OKゴールデンリバー (計17色)		"	'08年 1月
		OKエコプラス (計4色)		"	'08年 1月
		OKACカード (計9色)		"	'08年 1月
		新バフン紙 (計15色)		"	'08年 1月
		リカラーN (計40色)		"	'08年1月
		ピオトープGA (計13色)		"	'07年12月
		テンカラー皮しぼ (計35色)		"	'07年12月
		テンカラー (計22色)		"	'08年 1月
	スノーフィールド		"	'07年12月	
サイタン100W (計15色)		"	'08年 1月		
エ - スベ - パ - (計28色)		"	'07年10月		
エコラシャ (計26色)		"	'07年12月		
あららぎ (計23色)		"	'08年 1月		
特定ユーザー限定品		"	"	～'08年1月	
雑種紙	その他工業用雑種紙 加工原紙	特定ユーザー限定品 (封筒用紙、掛紙用紙など)		'99年～'01年頃	'07年12月
板紙	その他板紙	N地券紙		'07年 9月	'07年 9月
		特定ユーザー限定品 (紙ファイル用紙など)		'98年頃	'07年11月

表3 王子特殊紙の再生紙に対する取組の経緯

王子特殊紙株式会社

年代	法規制、社歴および生産体制		王子特殊紙の動向		
	法規制、社歴	生産体制 (設備対応含む)	王子製紙(特殊紙部門) 江別、岩淵、(富士宮)	富士製紙 新富士製紙 富士、第一、芝川、富士宮	安倍川製紙 静岡
~ 1995		新富士)第一 上白古紙処理設備(60t/D) DPK古紙処理設備(40t/D)	不明 封筒用紙(掛紙)生産開始(江別) '91 カラー封筒用紙生産開始(江別) (両銘柄とも古紙無配品でスタート)	'79 テンカー-インボ-入上市 '86 新利休上市 '87 デュク-ラウ上市 '88 モダニ-上市 (いずれも古紙無配品でスタート)	'57 OKミューズ-コットン上市 '69 OKミューズ-ストーン上市 '70 OKプロレスカー-上市  以後、OKミューズ-シリーズ等のファッショ-般品を順次上市(古紙無配品)
1996	96/10 王子製紙発足 (新王子/本州合併)	本州)富士宮 雑誌古紙処理設備(150t/D) 段ボール古紙処理設備(60t/D)			
1997			封筒用紙(掛紙)古紙配合化(江別)	新リアルパ-上市	
1998		安倍川) '98/09 12号抄紙機廃止		新利休、モダニ-、デュク-ラウ等の古紙配合化	OKプロレス上市
1999			カラー封筒用紙 古紙配合化(江別)  準高白DIPの調達が困難になる(江別)	テンカー-古紙配合化	
2000		王子)江別 '00/11上白古紙処理設備稼働 (6t/D)	上白古紙の調達が困難になる(江別)	OKプロレス生産開始(安倍川OEM)	OKミューズ-シリーズ等ファッショ-般品の古紙配合化
2001	'01/01グリーン購入法施行 '01/10)富士宮事業所を 新富士製紙へ編入	新富士)第一 '01/03 D2マシン廃止 '01/04 タブ-ルワイ-抄取設備稼働 '01/08 上白精選強化設備稼働	江別工場では、この頃から、配合率の乖離が発生したと推定	この前後の時期で、各社から古紙配合製品の上市が相次いだ。  一方で、古紙および古紙パルプの入手が困難になってきた	OKス-パ-エゴ-ラ-上市
2002		安倍川) '02/08 3号抄紙機廃止 新富士)第一 '02/11DPK古紙処理設備増強 (40 70t/D)	ビュ-コナ手帳クリ-AG100上市(岩淵) '02/07 グリーン購入ネットワーク登録  FSC認証取得(江別)		OKス-パ-エゴ-ラ-印刷クレ-ム発生
2003	'03/01 富士製紙発足 (安倍川/新富士合併)	富士)富士宮 '03/01 雑誌古紙処理精選設備強化	'03/09 ビュ-コナ手帳クリ-AG100印刷クレ-ム発生(岩淵)  ビュ-コナ手帳クリ-AG100は、この頃、配合率の乖離が発生したと推定	DPK(ケント古紙DIP)の調達が困難になる(静岡)	静岡、富士などでは、この頃から配合率の乖離が発生・拡大したと推定
2004	'04/10 王子特殊紙発足 (富士/王子(特殊紙事業)合併)	富士)第一 '04/04 DPK古紙処理設備強化 (ケント ケント+色上白古紙) '04/10 静岡)6,7号抄紙機廃止		MCP(ミルクカートン古紙)の調達が困難になる(第一)	
2005		'05/04 富士宮)DPZ古紙処理設備稼働 (30t/D)			OKミューズ-ガ-リ-HG上市(富士、FSC認証紙)
2006		'06/04 富士宮)DPZ古紙処理設備増強 (50t/D)			
2007		'07/8 江別)高白DIP設備稼働 (20t/D) 静岡)2号抄紙機廃止 '07/8 第一)3号抄紙機廃止 '07/10 富士宮)雑誌古紙処理設備 増強(2系統化) '07/11 第一)4号抄紙機廃止			
2008	'08/01 古紙配合率問題	'08/02 富士)7号抄紙機稼働 '08/8 静岡事業所閉鎖(予定) (1,2号抄紙機廃止予定)	'08/01 乖離品について、製品ラベルなどでユーザーの誤解を招く表示を訂正 グリーン購入ネットワーク登録品は登録取下げ		'08/1 ス-パ-エゴ-ラ-生産終了  静岡製造所閉鎖

王子特殊紙各工場の歴史

